

# MINORU NEWS

東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告



## 保育園利用者の現況届 2回→1回に

保育園を利用している保護者が毎年提出する現況届。東村山市では、年に2回の提出を求めています。

この間、他の保護者から「2回出すのは大変」という声を聞き、近隣の自治体の状況を調べたところ、東村山以外の自治体はすべて年1回とのことでした。

私自身、毎年同じ内容のものを年に2回も提出することに疑問を感じていたこともあり、市議会9月定例会で取り上げました。

市は「待機児が多い」「保育の新制度が始まった」ことなどを理由に、年2回の提出を求めてきたと説明。多摩26市で東村山以外はすべて1回であることも認めました。

その上で「コロナの対策で、今年は1回にしているが、今後もその方向で検討していきたい」と回答しました。

現況届の提出回数が減ることで、保護者の負担が少し少なくなります。

今後も、保育園利用者・子育て世代のひとりとして、子育てに関する負担を軽くし、安心して子どもを産み・育てられるまちにできるように、みなさんと一緒に取り組んでいきます。



## パンデミックに対応できる災害対策を

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中で、災害への対策が課題となっています。今、災害が起こればどうなるのか。

感染拡大と災害対策を両立させるために、今「公助」の重要性が改めて認識されています。

9月定例会では、「コロナ禍での災害対策」というテーマで質問し、災害が発生した際に避難をしなくてもいいような対策や準備を、「公(おおよけ)」の責任ですることを求めました。

具体的には、①耐震工事などの補助を拡大し耐震シェルターなども補助対象にする、②災害用備蓄品に補助をする、③避難が必要な市民を受け入れるために十分な準備をする、などです。

耐震診断と工事の補助金については、額・率ともに上乘せされましたが、対象が変わらないことと期限が来年度までとのことなのでまだまだ不十分です。

市が行うのは「公助」です。

市民や地域に「自助」や「共助」を押し付けるのではなく、本気になって市民の命を守るために取り組む必要があります。

安心して暮らせるように、みなさんと一緒に考えていきます。

**YouTube  
やっています!**

チャンネル登録  
もお願いします!



シリーズ

## SDGsって何？④

SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標の目撃ポイントは、  
「すべての人々に健康的な生活を確保し福祉を促進する」です。  
世界ではまだ、福祉にアクセスできる環境が整っていない状況にある国や地域も多く存在しています。  
感染症がまん延し、子どもの生存率に課題がある状況もあります。

現状はどうでしょう。  
格差と貧困が拡大し、医療などにアクセスできないという方や、「健康で文化的」とは言いえないような生活を強いられている方もたくさんいます。  
途上国か先進国かに関わらず、すべての国が「自分事」としてとらえることが大切です。社会の仕組みそのものも、問い直す必要があると考えています。



Twitter



Facebook



お困りのことなど  
お気軽にご相談ください。

## ■東村山市議団法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室  
日時：毎月第1水曜日(月により変更有)  
※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

## ■市議会12月定例会

日程：11月27日(金)～12月18日(金)  
コロナ禍で、自治体や議会の役割が重要になっています。  
みなさんの声を届けるために頑張ります！

## 渡辺みのる子育て日誌⑬

「なんでそんなことしたの！」

長女の怒鳴り声がかきこえる。3歳の三女が、長女の部屋でいたずらをしたようだ。

三女としては、一緒に遊んでいる長女と次女の仲間に入れてもらいたいようだが、お姉ちゃん二人としては、3歳の妹の遊びに付き合うのは難しいようだ。

そんなお姉ちゃんに仕返しと言わんばかりのいたずら。長女が大事にしているモノをわかって狙っているかのよう。

でも、三女はそんなお姉ちゃんでも大好き。お姉ちゃんがやっていることは何でも真似をしてみたい。

お姉ちゃんも妹が可愛くて仕方がないのだが、その日の気分によって対応が変わる。

一緒に仲良く遊んでくれると助かるのに…